

アシストクラス（プログラム）の概要

～基礎的学習内容の定着と実行機能力(成長力)アップ～

対象生徒

通常のホームルームでの学習活動等に概ね参加でき、生活や学習上で一部に「苦手さ・困難さ」を抱えている生徒で本人・保護者等が利用を希望している生徒。

利用の決定

受検時に利用希望の意向があった生徒については、入学時に再度確認をさせていただきますが、最終的には一学期末に保護者・本人の希望を踏まえて校内教育支援会議において検討し、保護者・本人との合意形成を図りながら校長が決定します。

合理的配慮

本人・保護者からの希望等があった場合は、原則として過度の負担が伴わない範囲で、見えにくさ、聞こえにくさ、移動上の制約、読み書き計算や注意/集中の困難さなど、学習活動等に生じる困難さに応じた合理的配慮を提供します。

計画的・一貫指導

入学決定時に出身中学校から提供頂いている「小中連携シート」や「個別の指導計画」等の情報をもとに、校内支援会議において「困難さの総合的な把握と指導計画」等の検討を行っているほか、ケース会議や個別面談を行うなど継続した指導を計画的に行います。

教科指導

基本的に各コースの必履修教科・科目及び選択教科・科目等を履修しますが、選択教科「国語基礎・数学基礎」を選択すると、アシストクラスにおいて義務教育内容の定着にじっくり取り組むことができます。

困難さへの支援

選択教科として学校設定科目「キャリアライフ」を選択すると、コミュニケーションスキル、感情コントロール、学習の仕方、職業訓練などをはじめ、時間・空間・情報管理やプランニング能力、セルフモニタリング等のスキルを学ぶことができます。

カリキュラム制限

カリキュラム上、「国語基礎・数学基礎」「キャリアライフ」を選択できるのは情報ビジネスコースで、3年間を見通して選択します。進学コースは対象外ですが放課後等の時間に支援を受けられます。

修得単位数

「国語基礎・数学基礎」「キャリアライフ」は選択科目として所定の単位数が認められます。学校設定科目の「キャリアライフ」は「個別の指導計画」にもとづいて計画的に進められます。

進路指導

進路指導（進学・就労）については、進路指導部などと連携しHR担任が中心となって進めますが、福祉的就労を希望する場合は、2～3年次に就職活動を行います。